

国際交流員ダニエルの

KANGA
KOURYUU

カンガ交流



クイーンズランド州 コミュニティの柱

オーストラリアには、約300もの異なる文化を背景に持つ人々が暮らしていて、国民のおよそ4分の1が海外の出身者です。多様な文化に寛容な社会を形成するためには、さまざまな民族のサポートを行う人が必要です。

オーストラリアに住む平野尚道（ひらの なおみち）さんはとても優秀なサポーターで、16年間にわたり、クイーンズランド州に住む日本人や他の外国人の悩みや困りごとに対応しています。今回は平野さんの人生と、彼が取り組んでいることを紹介したいと思います。どうぞ、楽しんで読んでください。

新生活を始めるために、オーストラリアへ

1983年に大学を卒業した平野さんは、大手レストランに就職し、その後結婚しました。数年後、平野さんは英語を勉強するために仕事を休み、奥さんを連れて約半年、オーストラリアで生活します。2人はそのときのオーストラリアでの暮らしをとて気に入り、移住を決意しました。

オーストラリアに住む日本人をサポートするために

オーストラリアに引っ越してから最初の15年間、平野さんは小売業で働いていました。オーストラリアで生活を始めて、国民の風習や考え方と、自分や移住者の友達が経験した困りごとや嬉しかったことなどを通じて、次第にオーストラリア社会への理解を深めていきました。

平野さんはその知識や経験を生かして、オーストラリアに住む外国人をサポートしたいと思うようになり、2005年に非営利団体「MCCGC（マルチカルチュラル・コミュニティーズ・カウンスル・ゴールドコースト※）」に転職。異文化育成



▲平野尚道さん

※MCCGC … 異なる文化背景を持つコミュニティの問題や悩みを、市役所や政府に報告し、政府・行政との橋渡しの役割を担う機関

オージー・スラング・タイム

オーストラリアのスラングを学ぼう



"Koala Diplomacy"

読み方 「コアラ・ディプロマシー」

意味 「コアラを通じた外交やPRのこと」

「Koala Diplomacy」とは、中国の「Panda Diplomacy（パンダ外交）」とよく似た表現です。オーストラリアでは、外交をスムーズにするために、他国にコアラをプレゼントすることがあります。また、オーストラリアを訪ねてくる政治家や有名人にコアラと一緒に記念撮影をしてもらうことで、オーストラリアのことを他国にPRしています。

担当として9年間勤めます。その経験から、オーストラリア国内に日本人の窓口役が必要と考え、日本人の「PLO（ポリス・リエゾン・オフィサー＝警察の連絡将校）」の導入を提案。この提案が支持されてからは、東南クイーンズランド州で初の日本人PLOとして働き始めました。

PLOは在住外国人のニーズに対応したり、異文化理解を深めたりするために、外国人と警察・政府機関の間の連絡や調整の役割を担っています。

助けを求める人の声が届くように

平野さんのアドバイスや助けを求める人の約7割が日本人で、留学生やアルバイト、観光客、オーストラリア人と結婚した人などがいます。その中にはいじめや家庭内暴力、インターネット詐欺の被害にあったという人もいて、平野さんはつらい状況にある人を助けるために力を尽くしました。

しかし平野さんによると、被害を受けても警察に報告しない日本人は多く、特に若い人にはその傾向が見られるそうです。そういった人たちが勇気を出して警察に相談できるように、「Japan Community of Queensland（クイーンズランド日本振興会）」を設立しました。現在は同じ考えのボランティアと一緒に、オーストラリアに住む日本人のためのさまざまなサポートやサービスを提供しています。

外国人の声がちゃんと聞き届けられ、社会にスムーズに溶け込めるように貢献している平野さん。文化の違いや異国の地でのトラブルに悩む人たちを救ってくれる、とてもありがたい人だと思っています。